

指定管理施設評価 年間評価シート

令和4 年度評価 (令和5 年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 施設分類, 施設管理型, 指定期間, 主な業務内容, 利用料金制, 施設所管課, 電話. Includes details for 三田市総合福祉保健センター.

2. 指標

Table with 4 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (施設稼働率, 総合案内), R4年度, R3年度, R2年度.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R4年度, 現指定管理者 R3年度, 現指定管理者 R2年度. Includes 施設利用状況 and 指定管理者の収支状況.

Table with 4 columns: 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度 (要望に対して, 三田市総合福祉保健センター), 利用者満足度調査結果.

指定管理施設評価 年間評価シート

令和4 年度評価 (令和5 年度実施)

施設名	三田市総合福祉保健センター	施設分類	施設管理型
指定管理者	社会福祉法人 三田市社会福祉協議会	施設所管課	共生社会部健康共生室健康増進課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
I.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(6)目標の達成度	サービス効果	3 標準	3 標準
II.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
IV.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	3 標準	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
(得点率＝評価項目の評点の合計÷満点×100)			得点率	76%
			総合評価	A

項目区分	評価区分
適正管理【3段階】	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	総合評価
概ね80%以上 ※	S 優良
概ね70%以上 ※	A 良好
概ね60%以上 ※	B 標準
概ね50%以上	C 要努力
概ね50%未満	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

<p>指定管理者による所見</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉や健康増進の拠点として、展示ケースを活用することにより、障害のある人やボランティアの活動を知ってもらえる機会を作ることができた。 展示の活用によりさまざまな啓発活動にも取り組んだ。 目で聴くテレビで聴覚障害の方に向けた情報番組を放映することにより、聴覚障害に関して市民の方に身近に感じてもらい、多様な人がつどい、活躍できる共生社会に向けた場づくりに積極的に取り組めた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の電気代、ガス代高騰対策として、施設利用者の理解、協力のもと継続的に節電対策に努めていく必要がある。また、利用料金収入増加に向け、貸館利用促進のための啓発を行っていく。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入増加に向けたPR(貸室のフリーWi-FiのPR)に努める。 市民の方が気持ちよく安心して利用できる施設に向けた施設管理に努める。
<p>市による所見</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目で聴くテレビの活用やユニバーサルデザイン見学会など、センターの特性を活かして共生社会推進に向けた市民の理解促進に取り組んでいる。 高齢者や障害者など配慮が必要な利用者も多い中、ウィズコロナに向けた感染対策を実施しつつ、確実に運営がなされており、利用者も増加している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気代、ガス代等の高騰により、年間収支はマイナスとなったが、施設利用者の理解を得ながら、施設全体でさらなる節電に努めるとともに、利用料金収入の増加に向けた取り組みが求められる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナ社会において、流行状況に応じて柔軟に必要な対策を実施しつつ、利用者が快適に安心して利用できる環境を整え、さらなる利用者の増加を図ることが求められる。 令和4年度にフリーWi-Fiを利用できる貸室が増えたことなど、施設の特徴や最新情報を効果的に発信し、利用者の増加につなげていくことが求められる。